

3M™ パナグラフィックス™ サブストレート 750NF の施工方法

定 義

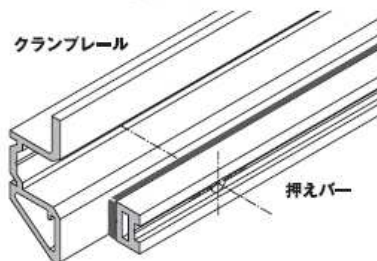
3M™ パナグラフィックス™ サブストレート 750NF の施工方法及び注意事項に関する説明書です。

貼り付け前に準備するもの

3M™ パナグラフィックス™ サブストレート 750NF を施工する際に次のような道具及び材料を準備して下さい。

- SCL-77 クランプ (クランプレール、押さバー)
- バネクリップ
- プラスチックスキージー PFA-1 (住友スリーエム社製)
- カッターナイフ
- 電動ドリル
- インパクトドライバー

SCL-77 クランプ



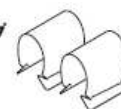
電動ドリル



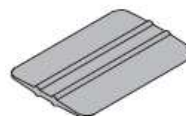
インパクトドライバー



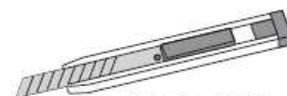
バネクリップ



プラスチックスキージーPA-1



カッターナイフ



保管・運搬上の注意点

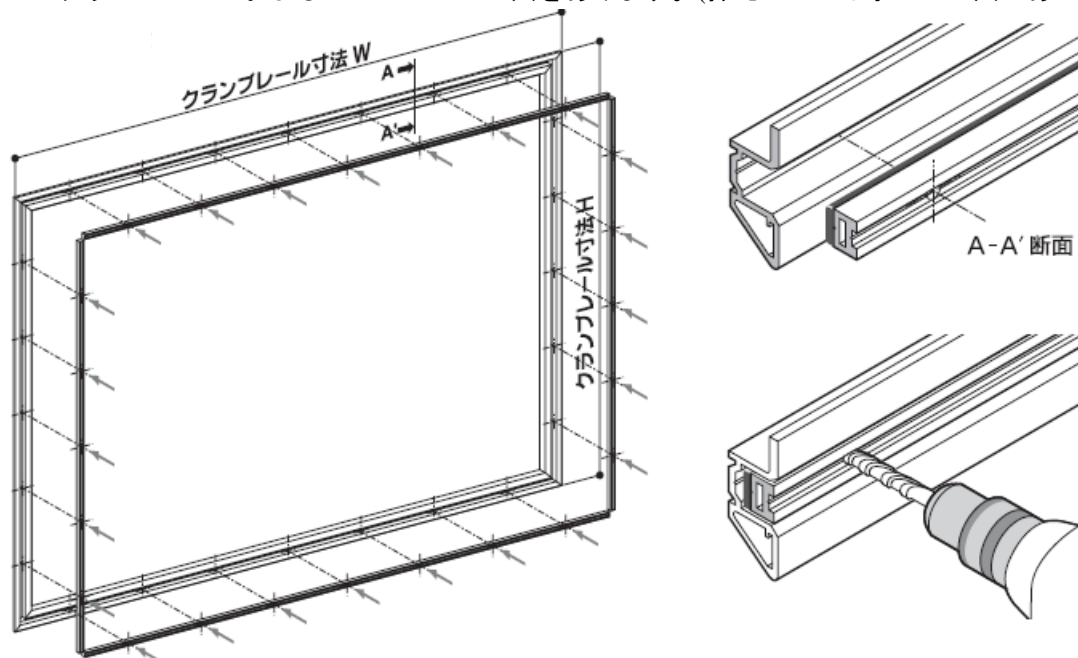
- 3M™ パナグラフィックス™ サブストレート 750NF は、合紙（ワックスペーパー等）で包んで、冷暗所で保存することにより1年間程度の保管が可能ですが、購入からできるだけ早めのご使用をおすすめいたします。
- また、以下の条件で保管して下さい。
 - ◇ なるべく開梱しない状態、または初期の包装状態。
 - ◇ 乾燥した屋内で、直射日光の当たらないところ。
 - ◇ 温度 38℃ 以下、湿度 20～70%、結露を避けて下さい。
 - ◇ ロールを積み重ねたり、部分的に圧力がかかったり、重量物を載せることなどは避けて下さい。

施工

以下の手順で施工を行って下さい。

1. SCL-77 クランプ及びフレームへの穴あけ

フレームに取り付けられた SCL-77 クランプのクランプレールに押えバーをはめ込み、押えバーの穴をガイドとして、電動ドリルでクランプレールおよびフレームにビス穴をあけます。(押えバーには予めビス穴があいています)

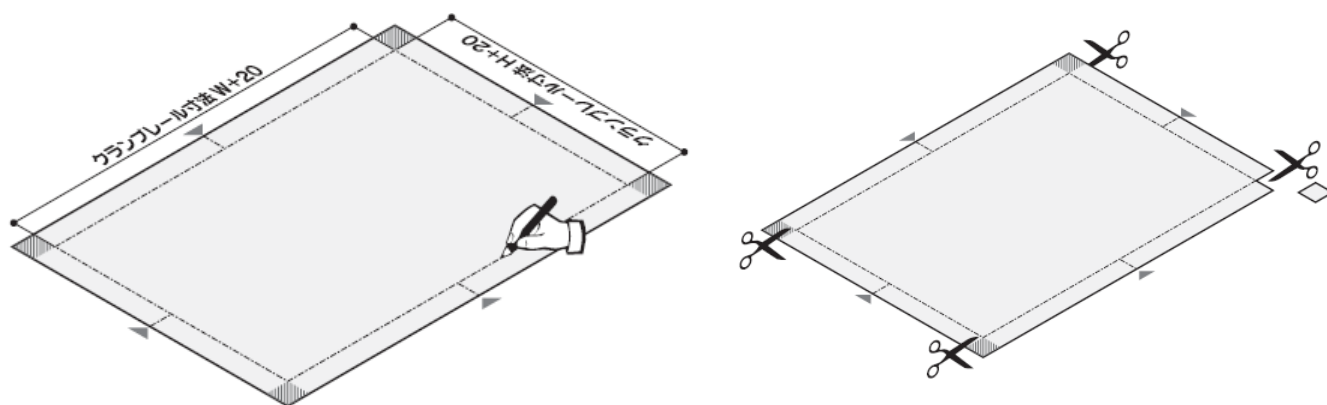


2. ケガキ線(基準線)の準備と不要箇所の裁断

3M™ パナグラフィックス™ サブストレート 750NF の各辺の中央部に印を付けます(▲箇所)。

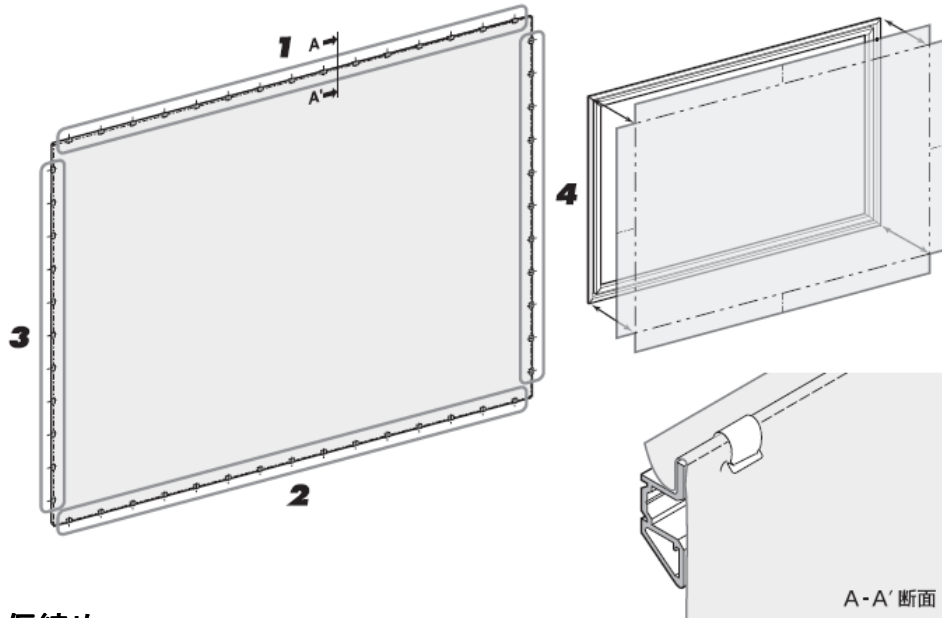
クランプレール寸法(長さ) + 20mm の位置にケガキ線を入れます。

3M™ パナグラフィックス™ サブストレート 750NF の角をカットします。



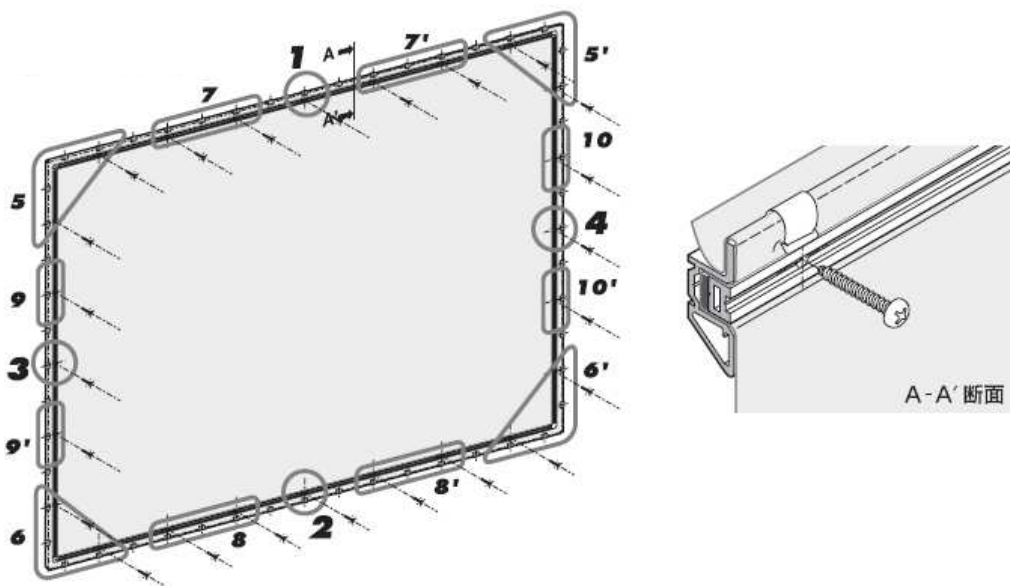
3. バネクリップを使用した仮止め

バネクリップを使用し、3M™ パナグラフィックス™ サブストレート 750NF を 1~4 の順でクランプレールに仮止めします。この時、3M™ パナグラフィックス™ サブストレート 750NF に歪みが発生しないようにして下さい。



4. 押えバーの仮締め

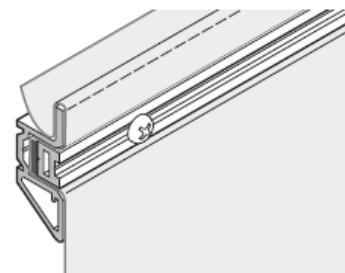
インパクトドライバーを使用し、ビスの半分程度を 1~10' の順に仮締めします。



5. 押えバーの本締め

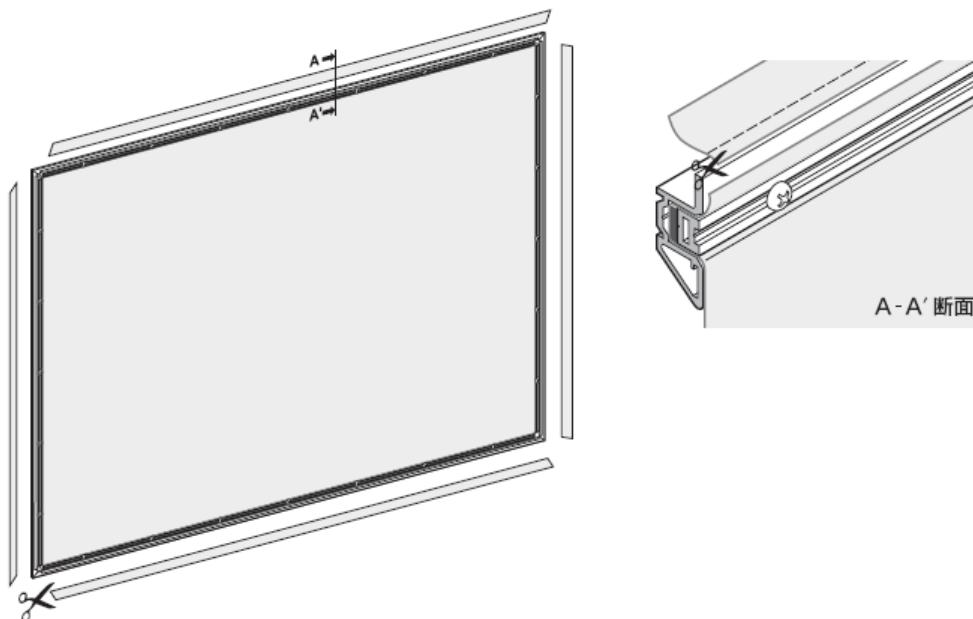
バネクリップを全て取り除き、前記の押えバーの仮締めと同じ 1~10' の順にインパクトドライバーでビスを締めこみます。

3 項のバネクリップを使用した仮止めが正確に行われていると、前項の仮締めの際に生じた細かなシワはこの本締めで解消します。



6. 仕上げ

外観、ビスの締め忘れ等に問題ないことを確認した後、3M™ パナグラフィックス™ サブストレート 750NF の余分な箇所を裁断して完成です。



注意事項

- 従来のサブストレートと比較して伸び率が非常に小さいため、施工時のテンション量も非常に小さくなり、使用できる取付金具も 750NF 専用の SCL-77 クランプに限定されます。
- 従来のサブストレートと比較して伸び率が非常に小さいため、SCL-77 クランプで施工した場合、仕上がり寸法に関係なく、片側 0~3mm 程度引っ張っていることになります。
- ガラス繊維が使用されていますので、カットしたり折り曲げたりした場合に細かいガラスの破片が皮膚や目に刺さったりする恐れがあります。取り扱う際には手袋や防護めがね等を使用することをお奨めいたします。
- 一旦折り曲げますとそれにより生じた折れ跡は消えませんし、その部分の強度も低下します。施工時サブストレートが折れ曲がらないように注意するとともに、折りたたんでの輸送は絶対に避けてください。

この説明書の著作権は弊社に属します、よって、無断複製、引用等を禁じます。

その他不明な点につきましては、弊社担当販売員にお問い合わせ下さい。

仕様及び外観は予告なく変更されることがありますので、ご了承ください。本書に記載してある事項、技術上の資料並びに勧告はすべて、当社の信頼している実験に基づいていますが、その正確性若しくは完全性について絶対的な保証はしません。使用者は使用に先立って製品が自己の用途に適合するか否かを判断し、それに伴う危険と責任もすべて追うものとします。売主及び製造者の義務は不良であることが証明された製品を取り替えることだけであり、それ以外の責任はご容赦ください。本書に記載されていない事項若しくは勧告は、売主及び製造者の役員が署名した契約書によらない限り、当社は責任を負いません。

3M™ パナグラフィックス™ は、3M 社の商標です。

スリーエム ジャパン株式会社

コマーシャルグラフィックス事業部